

圓満寺報

第 181 号

令和 2 年 3 月 1 日発行

天台宗 別格本山 安禅院円満寺

〒 220-0061 横浜市西区久保町 50-1

電話 (045) 231-4383

FAX (045) 241-4499

<http://enmanji-yokohama.jp/> e-mail:enmanji@xb3.so-net.ne.jp

節分会 (豆まき) が盛大に勤修さる



節分会 (豆まき) 参加の年男、年女の方々

安禅院第四十世
円満寺第五世 住職 西 郊 良 光

今年度の円満寺節分会は、二月三日(日)午後四時から執行されました。
当寺の節分会も今年で三十二回目をかぞえ、地域の人々の中にも浸透し、大変賑やかに行われました。この節分会は、

節を分けるという意味から行われてきたもので、冬と春とを区別するという意味も含まれていると言われています。

例年行われているのですが、今年は天候も良く、大勢の人々の参加で行われました。年男・年女の人の参加が特に今年は多く、大変有難いことでした。また特筆すべきは、稲荷台小学校の校長先生も参加くださった、地域の行事の一つに参加するという意味で大いに盛り上がりました。

厄除、厄年も当たられた方々が、その厄払いにこの行事に参加して、御利益を頂くのでございます。午後四時より節分会法要が行われ、大般若転読という大般若経を上げて読む法要で、この読誦の功德により厄を払除するのであります。従って年男・年女、厄年の人はこの風を受けて身体健全、祈願成就、商売繁盛を祈るのであります。

境内には今年も数多くの人々が集まり、心配していらっしゃった子どもさんの転落者はありませんでしたが、境界で防ぐようにお願いし、事故もなく行う事ができました。

西区において豆まきや厄除けの法要が行われている寺が寺院は少なく、当寺に参詣し、豆を頂いて家に持ち帰り、また家で豆まきを行っている者が多くありました事、境内一杯に集まった子ども達、そうして厄除けの法要に参列した方々、皆さんの御支援を受けて今年の豆まきも盛大に行えた事を大変嬉しく思っております。

地域に根ざした行事として来年もまた、大いに賑やかに行って参りたいと思えます。

また、今年特に檀家の皆さんの御札だけの御申込みも多く、丁寧に祈願致しました御札を御送りさせて頂き、皆様より感謝の言葉を頂きました。来年も御札の申込みを御受けする事に致しますので、檀家の皆様も、家内安全、商売繁盛、身体健全、交通安全、祈願成就の御願いをなさって頂きたく存じます。そして一年間平安に過ごされますように願っております。ここに節分会(豆まき)の様子を記しておきました。



福豆を求める沢山の人々が参集



本堂では大般若転読会の祈祷が行われた

円満寺総代会が開催さる

二月十三日午後五時より円満寺総代会がロイヤルホールヨコハマにて開催された。

議事の中において、本年新本堂が建立されて三十周年を迎える為、十年ごとに行っている塗り直し工事を三十周年記念事業として行う事が承認された。会議中、円満寺護持会中間報告も行われ、記念事業の工事費用は積み立てである護持会費で賄える見通しであることも報告された。

また、円満寺にて運営している永代供養墓「沙羅双樹の杜」が好評につき、区画によっては六割以上が契約・予約済である現況が報告され、新規区画増設の工事を行う旨が報告され、了承された。

十月二十九日より檀信徒に対して募集を行った「台風十五号、十九号被害被災者救援募金」についても募金総額及び寄託先が報告された。

報告事項として、住職次男である良俊が都筑区の観音寺住職に就任すること、職員東海林が三月末で退職する事が報告された。(関連四頁)

なお、総代会後には都筑区観音寺と関係の深い各寺院、観音寺総代等も同会場に招かれ交流を深めた。

台風十五・十九号被災者救援募金のご報告

令和元年 10 月 29 日に檀信徒の皆様に対して募集させて頂きました、台風 15・19 号被災者救援の募金でございますが、令和 2 年 1 月 31 日現在、227 件、合計 1,275,365 円をお寄せいただきました。多大なる御協力、誠にありがとうございました。

お預かりいたしました救援募金は、以下の寄託先へと寄託させていただきました。

天台宗災害対策本部 ￥500,000- (令和元年 12 月 19 日に振込にて寄託)

神奈川新聞厚生文化事業団 ￥500,000-

(台風 15 号救援金、台風 19 号災害救援金としてそれぞれ ￥250,000-

台風 19 号に関しては神奈川県限定の支援。令和 2 年 1 月 22 日 直接持参)

天台宗防災士協議会 ￥275,365- 入金 (令和 2 年 2 月 3 日入金)

義援金の寄託先といたしましては当初、天台宗及び神奈川新聞のみを予定しておりましたが、お寺宛に数件「大規模な寄託先よりも、目に見える形での細やかな支援にもお金を回してほしい」とのご要望をいただきましたため、副住職が役員として参画しております天台宗防災士協議会に寄託をし、地域の社会福祉協議会に支援を届けさせていただきました。